

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2022年 5月20日	
愛知県知事 殿	提出者 住 所 名古屋市中区新栄1-5-8 広小路アクアプレイス 氏 名 富士電機株式会社 中部支社 支社長 森田 浩司 電話番号 052-746-1000
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	富士電機株式会社 中部支社
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区新栄1-5-8 広小路アクアプレイス
計画期間	2022年4月1日 ~ 2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06: 総合工事業
②事業の規模	89,828 百万円
③従業員数	245人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 ⇒ 収集運搬(委託) ⇒ 中間処理(委託) ⇒ 再生可能 ⇒ 建設資材等に再資源化 中間処理 ⇒ 再生不可 ⇒ 最終処分場(埋立処理)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図) 管理体制図)</p> <p>本社環境管理部 ↓ 中部支社 環境事務局 (廃棄物管理者) ↓ 中部CE部 (CE部長) 中部技術課 (中部技術課長) 店舗技術部 技術課 (中部技術課長) 食品流通事業部 中日本営業部 (中日本営業部長) ↓ 各工事現場責任者 (廃棄物管理責任者)</p>	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
1 現状	【前年度 (2021 年度) 実績】 ※別紙 1 (R4(R3)別紙 1 産業廃棄物の抑制に関する事項.xlsx) のとおり
	産業廃棄物の種類
	排 出 量
	(これまでに実施した取組) 当社の産業廃棄物の排出量は、年度毎に元請工事受注量に左右され、撤去工事に伴う排出が主となるため、排出量の削減が難しい。 この状況を踏まえて最終処分量の低減を図るため、分別の徹底や可能な限り再生利用者への処理委託を行った。
2 計画	【今年度 (2022 年度) 目標】 ※※別紙 1 (R4(R3)別紙 1 産業廃棄物の抑制に関する事項.xlsx) のとおり
	産業廃棄物の種類
	排 出 量
	(今後実施する予定の取組) 主導的に産業廃棄物の削減が叶わない業種のため、排出される産業廃棄物の分別の徹底や、可能な限り再生利用者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での各品目毎の分別を徹底している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での各品目毎の分別を徹底する。

(第 3 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項
----------------------

1 現状	【前年度（2021年度）実績】 ※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	※該当なし		
2 計画	【目標】 ※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（2020年度）実績】 ※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
※該当なし			
2 計画	【目標】 ※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

1 現状	【前年度（2021年度）実績】※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ※該当なし		
2 計画	【目標】※該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ※該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状	【前年度（2021年度）実績】※別紙1（R4(R3)別紙1 産業廃棄物の抑制に関する事項.xlsx）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者選定において、可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図ってきた。		

(第5面)

2 計画	【目標】※別紙1（R4(R3)別紙1 産業廃棄物の抑制に関する事項.xlsx）のとおり		
------	---	--	--

	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を優先して選定する。 定期的な委託処理業者の現地確認を実施する。 定期現地確認の際に再利用率の向上を確認する。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



## 別紙 1 : 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## ①現状と②計画

単位 : t

産業廃棄物の種類	現状 前年度2021年度 実績	計画 目標	備考
管理型混合廃棄物	0.904	1	
電線くず	1.800	1	
鉛蓄電池	3.106	2	
木くず	17.680	14	
汚泥（泥状のもの）	20.640	17	
石膏ボード	25.500	20	
金属くず	34.375	28	
廃プラスチック類	50.040	40	
建設混合廃棄物	154.032	123	
廃電気機械器具	171.730	137	
アスファルト・コンクリート破片	313.360	251	
コンクリート破片	1154.310	923	
ガラス	0.240		
安定型混合廃棄物	0.450		
蛍光灯	0.074		
紙くず	0.060		
照明機器	0.053		
水銀式血圧計	0.003		
水銀体温計	0.001		
合計	1948	1557	



## 別紙2：産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状 前年度（2021年度）実績

単位：t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定 処理業者への 処理委託量	委託状況			備考
			再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への 処理委託量	
管理型混合廃棄物	0.9	0.54	0.2			
電線くず	1.8	1.8	1.8			
鉛蓄電池	3.11	1.86	0.6			
木くず	17.68	10.61	3.5			
汚泥（泥状のもの）	20.64	12.38	4.1			
石膏ボード	25.5	15.3	5.1			
金属くず	34.38	20.63	6.9			
廃プラスチック類	50.04	30.02	10.0			
建設混合廃棄物	154.03	92.42	30.8			
廃電気機械器具	171.73	103.04	34.3			
アスファルト・コンクリート破片	313.36	188.02	62.7			
コンクリート破片	1154.31	692.59	230.9			
ガラス	0.24	0.14				
安定型混合廃棄物	0.45	0.27	0.1			
蛍光灯	0.07	0.04				
紙くず	0.06	0.04				
照明機器	0.05	0.03				
水銀式血圧計	0.003	0.003				
水銀体温計	0.001	0.001				
合計	1,948	1,170	391			

## ②計画 目標

単位：t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定 処理業者への 処理委託量	委託状況			備考
			再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への 処理委託量	
管理型混合廃棄物	1.0	0.80	0.40			
電線くず	1.0	0.80	0.80			
鉛蓄電池	2.0	1.60	0.80			
木くず	14.0	11.20	5.60			
汚泥（泥状のもの）	17.0	13.60	6.80			
石膏ボード	20.0	16.00	8.00			
金属くず	28.0	22.40	22.40			
廃プラスチック類	40.0	32.00	16.00			
建設混合廃棄物	123.0	98.40	49.20			
廃電気機械器具	137.0	109.60	54.80			
アスファルト・コンクリート破片	251.0	200.80	100.40			
コンクリート破片	923.0	738.40	369.20			
合計	1,557	1,246	634			